

pick up  
1

## 立命館アジア太平洋大学(APU)×中村学園女子 「グローバルキャンパス」

9月13日(火)・14日(水)、高校1年生の学年行事「グローバルキャンパス」を本校にて開催しました。

本行事は、WWL事業協働機関であり教育連携協定を結んでいる立命館アジア太平洋大学(APU)の国際学生と英語でコミュニケーションをはかりながら、地球規模の環境問題や国際間の食の問題について相互理解を深めることを目的としています。過去2年間にはオンラインでの実施でしたが、今年はAPUから14カ国計29名の国際学生が来校し対面で行いました。

アイスブレイクで和んだ後は、グローバル探究の授業で学んできた「食に関する課題とその解決策」のプレゼンテーションを行い、国際学生にアドバイスをもらいながら学びを深めました。

クロージングセレモニーでは、グローバルファッションショーを開催。代表生徒が各国の色鮮やかな民族衣装をまとい、国際学生と一緒に登場しました。華やかなステージに、大きな歓声が上がりました。

グローバルキャンパスを通して、英語学習へのモチベーションや異文化・多様性に関する理解、世界の食に関する認識を深め、これからの学びのあり方を見つける貴重な機会となりました。



pick up  
2

## UTM×スルタン・イブラヒム高校×中村学園女子 Make a History of GI! 「海外フィールドワーク」

9月10日(土)から15日(木)にかけて、GI2年生の海外フィールドワーク(4泊6日/マレーシア・シンガポール)が行われました。新型コロナウイルス感染拡大の状況により、昨年度は海外渡航が実現できず、今年がGIクラス開設以来初めての海外フィールドワークとなりました。

WWL事業協働機関のマレーシア工科大学(UTM)や連携校のスルタン・イブラヒム高校を訪問しました。現地の学生との交流やグループワークを通して、異文化理解力や多様性受容力を高めただけでなく、全員が英語でプレゼンテーションを行い、より自分に自信がつかしました。

普段と違った環境に戸惑うこともありましたが、海外フィールドワークを終え、清々しく頼もしい姿で帰国しました。

【行程(令和4年度実績)】

1日目	マレーシア入国
2日目	アブラヤシ農園を見学→マレーシア工科大学にて研修→現地スーパー流通調査
3日目	フォロファームバンブー→スルタン・イブラヒム高校と交流→コタイスカンダル見学
4日目	シンガポール入国→マライオン公園→班別フィールドワーク
5日目	ユニバーサルスタジアムシンガポール→ガーデンズバイザベイ
6日目	福岡空港着

※UTM: University of Technology Malaysia(マレーシア工科大学)

pick up  
3

## 新カリキュラム・GI探究活動の集大成! 「GIプレゼンテーション」

GIクラスが発足して3年目を迎える今年度、7月29日(金)に初めてのGIプレゼンテーションが行われました。このイベントは、生徒それぞれが食に関する研究テーマに基づき論文内容をプレゼンテーションするものです。論文執筆にあたっては、外部指導委員としてさまざまな機関・大学の先生方より専門的見地から指導していただきました。プレゼンテーションを終えた後は、論文集等にまとめます。

GIクラス1期生として、3年間の探究で培った課題解決力や創造力を発揮することができました。



## What is WWL ?

文部科学省支援事業「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」では、国内外の各種学校・企業・国際機関等と協働してイノベティブなグローバル人材の育成を目指すカリキュラム開発を行います。本校は、2020年度より福岡県初、唯一のカリキュラム開発拠点校に指定されました。

## 4 創造力を社会へと生かす 「アントレプレナーシップ講座」

6月21日(火)・7月15日(金)、WWL事業協働機関・株式会社SGインキュベート様の協力のもと、G12年生を対象に現在進めている産学連携とリンクしたかたちで商品の生産・流通・販売するために必要な知識・考え方を学びました。また、身近な課題発見・解決力が社会のイノベーションをいかに生み出すか、事例を学び起業に対するイメージを深めました。



## 5 「アジア架け橋留学生」が 留学生生活をスタート

本校は、2018年度より5か年計画で開始した文部科学省補助事業「アジア高校生架け橋プロジェクト」に参加し、毎年留学生の受入れを行っています。プロジェクト最終年度となる今年は7か国から7名を迎え、G11・2年生のクラスに所属し、協働学習を通して相互理解を深めています。



## 6 海外ターム留学の成果を 「G1留学報告会」にて プレゼンテーション

6月14日(火)、G1留学(G11年生希望者対象・カナダ2か月半)から帰国したG12年生の生徒による報告会を行いました。生徒たちは現地校やホームステイでの様子、各自が課題設定をして取り組んだ研究について生き生きと報告しました。「日本と海外の違いを感じ、視野が広がった」「海外ではつねに意見を問われる。自分の意見や考えを持つことが大切だと思った」など、留学を通して大きく成長をしたようです。報告会に参加したG11年生も、今年の留学プログラム参加に向けて触発されている様子でした。



## 併設校留学 支援制度

本学園では、新たに併設校留学支援制度を設け、併設校の三陽高校と合同での留学支援選考を行います。女子高校はG1留学希望者を対象に募ります。

審査では、エッセイやプレゼンテーションを通して「留学に対する想い」や「帰国後のビジョン」などを明確に伝えることが求められます。

【令和4年度実績】

最優秀(1名) / 優秀(3名)

※詳細は、「保護者のための高校受験ガイド2023」をご確認ください。



G1留学の  
様子なのです!



中村学園公式キャラクター  
つぼみさん

